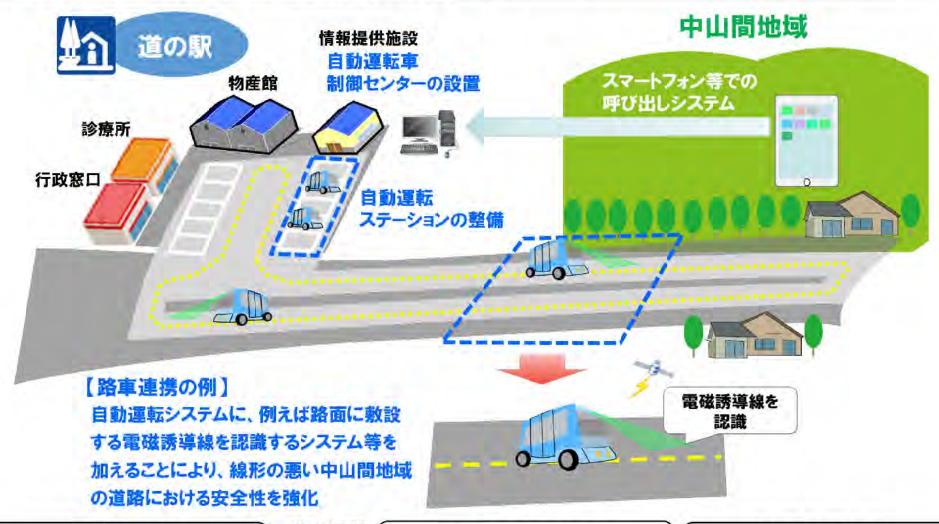
自動運転サービス実証実験の概要と検証結果

国土交通省 北海道開発局平成30年8月8日

●高齢化が進行する中山間地域において、人流・物流を確保するため、「道の駅」等を拠点とした 自動運転サービスを路車連携で社会実験・実装する。



物流の確保 (宅配便・農産物の集出荷等) 貨客混載

生活の足の確保 (買物・病院、公共サービス等) 地域の活性化 (観光・働く場の創造等)

平成29年度 実証実験箇所 位置図

「第3回中山間地域における道の駅等を拠点とした自動運転ビジネスモデル検討会」 (H30.5.14) 資料

○: 地域指定型

を実施する箇所

主に技術的な検証

(5箇所)

):公募型

主にビジネスモデ ルを検討する箇所 (8箇所)

〇:FS箇所

ビジネスモデルの更なる具体 化に向けてフィージビリティス タディを行う箇所(机上検討) (5箇所)

きたあきたぐん かみこあにむら 秋田県北秋田郡上小阿仁村 (道の駅 かみこあに) $(12/3\sim12/10)$

いがしおきたまぐん たかはたまち 山形県東置賜郡高畠町 (道の駅 たかはた) $(2/25 \sim 3/4)$

新潟県長岡市 (やまこし復興交流館おらたる)

富山県南砺市 (道の駅 たいら) $(11/26 \sim 11/30)$

岐阜県郡上市 (道の駅明宝)

北海道広尾郡天樹町 (道の駅 コスモール大樹) $(12/10\sim12/17)$

栃木県栃木市西方町 (道の駅にしかた) $(9/2 \sim 9/7)$

茨城県常陸太田市 (道の駅 ひたちおおた) $(11/18 \sim 11/25)$

長野県伊那市 (道の駅 南アルプスむら長谷) $(2/10\sim2/16)$

熊本県葦北郡芦北町 (道の駅 芦北でこぽん) $(9/30 \sim 10/7)$

福岡県みやま市

(みやま市役所 山川支所)

 $(2/17 \sim 2/24)$

徳島県三好市はしゅかぶたい (道の駅にしいや・かずら橋夢舞台) $(12/3 \sim 12/9)$

> 滋賀県大津市 (道の駅 妹子の郷)

愛知県豊田市 (道の駅 どんぐりの望いなぶ)

滋賀県東近江市蓼畑町 (道の駅 奥永源寺 渓流の里) $(11/11 \sim 11/17)$

岡山県新見市 (道の駅 鯉が窪)

 $(3/10\sim3/16)$

島根県飯石郡飯南町

(道の駅 赤来高原)

 $(11/11 \sim 11/17)$

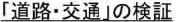
山口県宇部市 (楠こもれびの郷)

道の駅「コスモール大樹」における実証実験(北海道広尾郡大樹町 (H30.5.14) 資料

「第3回中山間地域における道の駅等を拠

- 〇 道の駅「コスモール大樹」を中心に、病院や町役場、生産物出荷場を結ぶ走行延長約7.6kmのルートを走行。
- 〇マイクロバスタイプ車両(レベル2+4)を使用し、周辺住民を中心に約120名がモニターとして乗車。









路面積雪時の勾配区間や路肩積雪区間での自動走行

・圧雪路面状態においても、概ね円滑に自動走行

「路車連携技術」の検証



路面に埋設した磁気マーカの読み取り による自動走行(運転手不在)

「地域への効果」の検証



自動運転車から路線バスへの 乗り継ぎ(利便性の検証)



【使用した車両】 (先進モビリティ(株))

〇一般車・歩行者との混在区間を走行

OGPSと磁気マーカにより 自己位置を特定して走行

〇運転手が監視しながらの 走行(レベル2)も可能

実証実験 H 短期の実証実験(1週間程度) 29 〇主に技術的検証やビジネスモデルの検討 年度 〇全国13箇所で実施(総走行距離:約2,200km 参加者:約1,400人) (2017) 長期の実証実験(1~2か月程度) H 〇主にビジネスモデルの構築 30 OH29年度に実験を実施した13箇所のうち、車両調達の見通しやビジネスモデルの 年度 検討状況等を踏まえて、準備が整った箇所から順次実施 〇翌年度以降の早期社会実装を目指す (2018)(平成30年度は5~6箇所程度) ※この他、H29年度のFS箇所のうち、地域での検討の熟度に応じて、順次実証実験を検討

「道の駅」等を拠点とした自動運転サービスの2020年までの社会実装を目指す